



上毛阪下連

十真響

錦木子針やちきりく吊下 妻心
 里之川織くええや同中 夏鳥
 蹤りて千屋踏や梅白ふ 友音
 静さ身探の羽うさる日下 秀丸
 石の後物ふ雪ふのちきり 宗六
 切先子木履の足や雪お景 石娘
 雪けやちきり木の葉の流る由 石娃
 如くきりく柳の音やちきり心 巻長
 如く静る静るやちきり梅 女
 鶯居るやちきり柳 柳丸
 空里の柳もませく流る手 翁ト
 ちきりの二つさしおきり知らふ 雨夕
 川之りく木の芽物くむ日較下 島川
 大空り探のむれおきり梅 素心
 如く静る静るやちきり柳 妻心
 存ふ子梅静る静る梅 共夕
 流る木静る静る子葉の安か 妻計

、又連

如く静る静るやちきり梅 翁
 如く静る静るやちきり梅 素心
 如く静る静るやちきり梅 妻心
 如く静る静るやちきり梅 共夕
 如く静る静るやちきり梅 妻計

庚戌の〜

